

れんごう中越地協

第624号 2008.11.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円

ライフプランセミナー(長岡会場) 定年に備えるライフプランをテーマに研修 53名が受講して、年金問題を中心に勉強会

新潟県労協が主催したライフプランセミナー(長岡会場)が11月14日(金)午後6時よりアトリウム長岡にて開催された。団体世代の大量退職に備えた全県統一テーマで講演会が実施された。



本セミナーは労金長岡支店の庭野支店長が司会を行い、連合中越金内副議長から主催者挨拶が行われて開始された。

現役時には、厚生年金の掛け金が少しでも低い方が得した感覚が多い中、受給時に受け取る金額が同僚と比べて低いことに気がつく人が多い。年金問題を中心とした内容が話された。

説明がなされた。標準報酬月額が固定的賃金を中心に4月から6月の実績で算定されることや賃金変動時の修正手続き、対象期間における残業や交通費・家族手当額などの高低が算定に影響して受給金額に開きが生じる事も説明がなされた。



ライフプランセミナーの様子。講師の講話に真剣に聴き入る受講者。

ライフプランセミナーのご案内

☆定年に備えるライフプラン・無料☆
＜小千谷会場＞
12月4日(木)18:00～
サンラックおぢや
＜南魚沼会場＞
11月26日(水)18:00～
サンライズ南魚沼

ライフプランセミナーは小千谷や南魚沼でも開催が予定されており、長岡会場に参加出来なかった方は是非参加いただきたい。

新潟の地域医療を考える シンポジウムin魚沼開催される

講演・事例報告・シンポジウムを集中的に実施



当日は天候も崩れ始めた日曜日にも関わらず、400名の参加者が会場を埋め尽くす中で開催された。主催者を代表して連合新潟の江花会長が挨拶。これからの地域は医療のみならず持続可能な地域社会の構築が総合的に一体となっていく形が重要と指摘された。形成されないという不安が大きい。提起がなされた。続いて県立小出病院の布施院長の講演、NPO法人地域医療を育てる会と魚沼市国保専門診療所から事例報告が行われた。

医師不足問題など地域医療の現場が大変な状況になっていることに危機感を感じて企画された新潟の地域医療を考えるシンポジウムが11月16日(日)午後1時より魚沼市地域振興センターにて開催された。

柿川周辺清掃と歴史探訪の集い、連合列島クリーンキャンペーン合同の実行委員会が11月13日(木)午後6時30分から市民センターにて開催された。反省点として、コースが直前で変更になったこと、歴史資料館で各コースが重なったことなどが出された。うれしい反省点として、「ごみがあまりなかったこと」が挙げられました。来年の方向性まで論議できませんでしたが、更なる内容充実を図って進めることが共通認識となりました。

本年度の反省と決算報告 次年度に発展させる意見交換実施

柿川に親しむ会実行委員会
柿川周辺清掃と歴史探訪の集い、連合列島クリーンキャンペーン合同の実行委員会が11月13日(木)午後6時30分から市民センターにて開催された。反省点として、コースが直前で変更になったこと、歴史資料館で各コースが重なったことなどが出された。うれしい反省点として、「ごみがあまりなかったこと」が挙げられました。来年の方向性まで論議できませんでしたが、更なる内容充実を図って進めることが共通認識となりました。

いづれも現場発の報告や問題提起であり、医師不足の解消策や地域医療が都市部と中山間地でどんな格差が生じていく実態が浮き彫りにされた。3名の報告と提起で共通していたことは、医療機関と医師が地域と密着していかなくてはならないことが大きな要素を持つことが大切だということがわかった。

県・地区LSC
コーディネーター研修
県ライフサポートセンターは地区LSCコーディネーターのレベルアップを目的に先進地である静岡県ライフサポートセンターを訪れての研修会を実施。静岡での労協協活動の活発化の現状や、LSCの地域や社会での大胆な活動を知ることができた。新潟的なLSC活動展開に大いに参考になった。

第4回支部代表者会議の案内

日時 11月25日(火)18:00～
会場 長岡市勤労会館フリールーム
議題 支部予算執行計画について
機関紙支部だよりについて
その他

たす大きな役割とともに、患者や地域住民側の医療への積極的な参加やアプローチも大きな要素を持つことが大切だということわかった。

見なくっちゃ
聞かなくっちゃ
言わなくっちゃ
●文民統制(シビリアンコントロール)は完全に壊れていた。
●自衛隊航空幕僚長がアパグループの懸賞論文で「日本の侵略戦争や植民地支配を正当化する」考えを発表・受賞。賞金は三百万円。
●過去の悲惨な戦争で軍が暴走して、政府が追認する形でエスカレートして行った苦い反省から、厳しく文民統制を固めることが国是となっている。にも関わらず、制服組の最高責任者・幕僚長がこの様だ。

●参院外交防衛委員会での参考人招致での答弁でも持論を展開。反省どころか、委員会後の記者会見では「政府の考えと違う」と更迭や問題視されるとは北朝鮮と同じだ。と政府批判を弁々と展開。
●このような思想家を幕僚長に据えた総理大臣・政府の責任は大きい。彼は「本年5月の隊内誌での発表では何も注意は受けなかった。一とも強弁している。思想・言論の自由というレベルと自衛隊幕僚長としての責任との関係では、100%の文民統制が破壊されていたのではない。これは看過出来ないし、してはいけない。

サラリーマン川柳(おいしい飯 出来ましたよと 妻を呼ぶ) (美味しいは 誉めて旦那に 作らせる) (ボーナスは 一泊だけのお客様) (求人欄眺めて 過ごす 仕事)

れんごう中越地協

第624号 2008.11.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円

ライフプランセミナー(長岡会場) 定年に備えるライフプランをテーマに研修 53名が受講して、年金問題を中心に勉強会

新潟県労協が主催したライフプランセミナー(長岡会場)が11月14日(金)午後6時よりアトリウム長岡にて開催された。団体世代の大量退職に備えた全県統一テーマで講演会が実施された。



本セミナーは労金長岡支店の庭野支店長が司会を行い、連合中越金内副議長から主催者挨拶が行われて開始された。

現役時には、厚生年金の掛け金が少しでも低い方が得した感覚が多い中、受給時に受け取る金額が同僚と比べて低いことに気が付く。年金の掛金が少ないと、受給時に受け取る金額が同僚と比べて低いことに気が付く。

説明がなされた。標準報酬月額が固定的賃金を中心に4月から6月の実績で算定されることや賃金変動時の修正手続き、対象期間における残業や交通費・家族手当額などの高低が算定に影響して受給金額に開きが生じる事も説明がなされた。



ライフプランセミナーの様子。講師の講話に真剣に聴き入る受講者。

ライフプランセミナーのご案内

☆定年に備えるライフプラン・無料☆
＜小千谷会場＞
12月4日(木)18:00～
サンラックおぢや
＜南魚沼会場＞
11月26日(水)18:00～
サンライズ南魚沼

ライフプランセミナーは小千谷や南魚沼でも開催が予定されており、長岡会場に参加出来なかった方は是非参加いただきたい。

新潟の地域医療を考える シンポジウムin魚沼開催される

講演・事例報告・シンポジウムを集中的に実施



当日は天候も崩れ始めた日曜日にも関わらず、400名の参加者が会場を埋め尽くす中で開催された。主催者を代表して連合新潟の江花会長が挨拶。これからの地域は医療のみならず持続可能な地域社会の構築が総合的に一体となっていくことが必要と指摘された。形成されないという不安な声も聞かれた。この提起がなされた。続いて県立小出病院の布施院長の講演、NPO法人地域医療を育てる会と魚沼市国保専門診療所から事例報告が行われた。

医師不足問題など地域医療の現場が大変な状況になっていることに危機感を感じて企画された新潟の地域医療を考えるシンポジウムが11月16日(日)午後1時より魚沼市地域振興センターにて開催された。

いづれも現場発の報告や問題提起であり、医師不足の解消策や地域医療が都市部と中山間地でどんな格差が生じていく実態が浮き彫りにされた。3名の報告と提起で共通していたことは、医療機関と医師が地域と密着していかなくてはならないことが大きな分かれ目となることを受け止められた。地域医療は行政が果たす大きな役割とともに、患者や地域住民側の医療への積極的な参加やアプローチも大きな要素を持つことが大切だということがわかった。

本年度の反省と決算報告 次年度に発展させる意見交換実施

柿川周辺清掃と歴史探訪の集い、連合列島クリーンキャンペーン合同の実行委員会が11月13日(木)午後6時30分から市民センターにて開催された。反省点として、コースが直前で変更になったこと、歴史資料館で各コースが重なったことなどが出された。うれしい反省点として、「ごみがあまりなかったこと」が挙げられました。

来年の方向性まで議論できませんでしたが、更なる内容充実を図って進めることが共通認識になりました。

第4回支部代表者会議の案内

日時 11月25日(火)18:00～
会場 長岡市勤労会館フリーールーム
議題 支部予算執行計画について
機関紙支部だよりについて
その他

県・地区LSC コーディネーター研修
県ライフサポートセンターは地区LSCコーディネーターのレベルアップを目的に先進地である静岡県ライフサポートセンターを訪れての研修会を実施。静岡での労協協活動の活発化の現状や、LSCの地域や社会での大胆な活動を知ることができた。新潟的なLSC活動展開に大いに参考になった。

●参院外交防衛委員会での参考人招致での答弁でも持論を展開。反省どころか、委員会後の記者会見では「政府の考えと違う」と更迭や問題視されるとは北朝鮮と同日だ。と政府批判を弁々と展開。●このような思想家を幕僚長に据えた総理大臣・政府の責任は大きい。彼は「本年5月の隊内誌での発表では何も注意は受けなかった。一とも強弁している。思想・言論の自由というレベルと自衛隊幕僚長としての責任との関係では、100%の文民統制が破壊されていたのではないかと、これは看過出来ないし、してはいけない。

●文民統制(シビリアンコントロール)は完全に壊れていた。●自衛隊航空幕僚長がアパグループの懸賞論文で「日本の侵略戦争や植民地支配を正当化する」考えを発表・受賞。賞金は三百万円。●過去の悲惨な戦争で軍が暴走して、政府が追認する形でエスカレートして行った苦しい反省から、厳しく文民統制を固めることが国是となっている。にも関わらず、制服組の最高責任者・幕僚長がこの様だ。

見なくっちゃ
聞かなくっちゃ
言わなくっちゃ

サラリーマン川柳(おいしい飯 出来ましたよと 妻を呼ぶ) (美味しいは 誉めて旦那に 作らせる) (ボーナスは 一泊だけのお客様) (求人欄眺めて 過ごす 仕事)

サラリーマン川柳 (フー天気 暗い時代に 希少価値) (マイホーム 建てたパパだけ 部屋がない) (妻よりも ごみの仕分けが うまくなり) (儲かると 誘った人が 職探し)

政権選択選挙です

政権交代

新潟第1区・民主党公認
西村ちなみ

新潟第2区・民主党公認
わしお英一郎

新潟第3区・民主党公認
黒岩たかひろ

新潟第4区・民主党公認
菊田まきこ

新潟第5区
菊田まきこ

新潟第6区・民主党公認
つつい信隆

衆議院選挙区の本県の区割り

連合栃尾支部だより

栃尾地区 平和の集い



上:古田島館長の講演
左:深田夫妻の生演奏

10月7日(火)18:30から栃尾文化センターにて「栃尾地区平和の集い」が80名の参加を得て実施開催されました。

長岡戦災資料館の古田島館長より、長岡空襲の被災体験から、平和の尊さを考える講演を受けました。B29による焼夷弾攻撃による被災と同時に、栃尾地域からもたくさんの救援隊が長岡に向けられたことなどが分り良く話され、「平和の尊さと平和を守る個との大切さ」が訴えられた。

続いて、深田栄広・美恵子によるジャズの生演奏。軽快なリズムが6曲続き、続くリクエストタイムでも次々と演奏が行われ、びっくりしました。

平和の尊さと、秋の文化に触れた、良いひと時でした。

連合見附支部だより



実りの秋となり、7月下旬に種をまいたソバが順調に育っています。収穫の為のボランティア活動は10月26日(日)を予定しています。気になるのはいつ解散総選挙になるのかですが、両方の実とも確実に刈り取り(勝ち取り)、後でうまいソバ食をべたいものです。そんな昨今の中ですが、前支部長の川島和男さんが突然の脳梗塞のため7月2日お亡くなりになりました。支部を長年引っ張ってこられた努力に感謝し、ご冥福をお祈りします。